

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 7月

公表:令和 4年 8月

事業所名 ネクストエール立川教室

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	「静」「動」の部屋に分けて個別課題や活動に取り組めるようにしている。	成長に応じて分けています。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		東京都の基準に則って保育士や児童指導員を配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		前回できなかった保護者会の開催、立川市にて行われた「遊び」のイベントに参加出来ました。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	84%	16%		ネクストエールのホームページにて公表しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	オンラインセミナーを受講している。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		月に1度の会議で職員で協議して方向性を決めている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		季節の行事を入れたり、地域のイベントに参加したりしています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		夏休みの宿題や課題を共有して取り組めています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		会議やアプリ等を活用して予定を共有しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		会議やアプリ等を活用して予定を共有しています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	84%	16%		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行ってている	100%	0%	送迎時に担任の先生と話をしたり電話にて様子を確認している。	長期休みの場合も保護者の方に早めの確認をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	×	×		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	68%	32%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	84%	16%		前例がありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	68%	32%	相談員の方とのやり取りは不定期だがある。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	68%	32%		コロナ渦の為難しいが改善後は実施しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	52%	48%		立川市の協議会への参加をしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	84%	16%	面談や電話にて話をしている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	84%	16%		今年度は開催することが出来、多くの方にご参加いただきました。今後も計画していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	68%	32%		新型コロナウイルスの影響により地域の方との交流は行っていません。今後感染状況が改善次第、検討したいと思います。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		感染症対策はお便りにて配布しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		避難訓練を実施しています
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		代表して一人が講習を受け、他の職員に研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		職員間での共有、保護者、本人に説明、支援計画に記載し、予め同意を得ています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		しっかりと共有をしている。